

2. 磯ハイキング【所要時間 150分～170分 200名】

(1) ねらい 地図をたよりに、班員が協力して定められた海岸コースをまわり、自然に親しませ雄大な景色や浜辺に打ち寄せられた海の産物に興味を持たせるとともに環境について考えさせる。

(2) 事前指導・準備

- 児童・生徒：身軽な服装，帽子，タオル，ちり紙，水筒
- 引率者：班編制，チェックポイント係，救急薬品
- 所員：業務用無線，チェックカード，ゼッケン，問題，地図，ストップウォッチ，輸送車，スタート係，ゴール係

(3) 指導上の諸注意（引率者）

- 団体独自の問題を設定する場合は，所員と相談する。
- チェックポイントで児童生徒の健康状態等を十分に把握し、発達段階に応じた課題を解かせる。
- 健康安全，交通事故防止に万全の配慮をさせる。

(4) 活動展開例

活動内容	時間(分)	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
1. 集合，点呼をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ●体調の悪い時は引率者に申し出る。 ●班ごとに用具を受け取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●つどいの広場 ●地図 ●ゼッケン ●チェックカード
2. 説明を聞く。	20	<ul style="list-style-type: none"> ●ハイキングについて説明する。 ●班員が分散しないで一緒にチェックポイントを通過する。 	
3. スタートする。	120 140	<ul style="list-style-type: none"> ●班ごとに出発する。(抽選，ジャンケン等による) ●所の車でチェックポイント係を配送し，交通安全やマムシ，ハチ，クラゲに注意し，事故防止等につとめる。 ●道のまちがいに気づいたら引き返す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スタート係 ●業務用無線 ●救急薬品 ●チェックポイント係
4. ゴールチェックを受ける。		<ul style="list-style-type: none"> ●班員が全員そろって帰着したことを確認する。 ●チェックカードは到着順に採点する。 	●ゴール係
5. 集合し，まとめをする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ●活動全般について話し合いをする。 	

事前打ち合わせ事項

★磯の区間(亀の甲～砂美の浜)は，潮の満ち引きに左右され，実施日や時間帯によって一部コースを道路に変更することもあるので所員と事前打ち合わせの時に確認をしてください。

資料

1. チェックポイントは，地図上にしるし，各ポイントで引率者が児童生徒の健康状態等を把握し、発達段階に応じた課題を解かせる。

2. 活動のしかた

- ①地図上にしるしたポイント番号の順に進み、各ポイントの課題を解決しながらコースを1周する活動である。
- ②1班の人数は、5～6名が理想的ではあるが全体の人数や児童・生徒の実態に応じて変更する。
- ③スタートは、時間差スタート形式で実施し、3分間隔を基準にするが全体の人数や児童・生徒の実態に応じて2分間隔、1分間隔に変更して柔軟に対応する。
- ④環境教育の一環として海岸線の奉仕活動を実施する。

3. チェックポイントの所員・引率者の配置と課題 ※①・②・⑥いずれかの浜で奉仕活動する。

☆引率者が3名以上の場合

スタート・ゴール

①亀の甲の浜	ネイチャーゲームの浜	所員
②砂美の浜	雄叫びの浜	所員
③無線局頂上(四国の道休憩所)	カメラクイズ, 俳句および④の出題(漁船の名前を3つ覚える)	引率者
④橋本店の交差点	漁船の名前を3つ答える	引率者
⑤縫製工場の交差点	方角クイズ	引率者・所員
⑥小島の浜(ゴール)	チャレンジの浜(石投げ:水切り回数, フライングディスクゲーム)	所員

☆引率者が2名以下で児童生徒が少数(50名程度)の場合

スタート・ゴール

①亀の甲の浜	ネイチャーゲームの浜	所員
②砂美の浜	雄叫びの浜	所員
③無線局頂上(四国の道休憩所)	カメラクイズ, 俳句および④の出題(漁船の名前を3つ覚える)	引率者
④橋本店の交差点	漁船の名前を3つ答える	引率者
⑤縫製工場の交差点	方角クイズ	引率者・所員
⑥小島の浜(ゴール)	チャレンジの浜(石投げ:水切り回数, フライングディスクゲーム)	所員

